

2015年5月23日（土）

2015年度 岐阜大学公開講座 視る・考える・創る「形と数」の教室

一票の格差を考えよう！

海陽中等教育学校 教諭 黄瀬 正敏

政治の世界では「一票の格差」が問題となっています。これは未来に羽ばたく皆さんにとってこそ大きな問題です。今回はこれらを解決するべく数楽的活動を体験することで、明るい未来を自ら切り開いて欲しいと願っています。

1. 最初に

2. では問題、その前に…

初級問題 次の10人の子どもを綱引きのメンバーとしていくつかのグループに分けたい。

A : 37kg, B : 42kg, C : 39kg, D : 40kg, E : 45kg,

F : 47kg, G : 47kg, H : 44kg I : 41kg, J : 63kg

(1) 5つのグループ

(2) 2つのグループ

(3) 3つのグループ

どのような考え方を用いて求めましたか？工夫した点も述べて下さい。

3. それでは実際の問題に…

実戦問題 選挙に関して「1票の格差」が注目されています。これは日本のある地域における1票の価値が他の地域に比べて大きく違いが生じていることを表しています。未来に向けてそういうことが少しでも少なくなるといいと思いませんか？そこで今日は皆さんにこのことを自分たちの問題として実際に考えてもらいたいと思っているのです。

現在岐阜県は約170万人の有権者がおり、小選挙区では5つの区に分かれて投票され選出されています。しかし有権者数から見ると不公平な状況となっています。そこであなたの観点からこの状況を少しでも改善してもらいたいのです。

別紙地図を基に、あなたの岐阜県選挙区を作ってください。ただし、選挙区数は5です。ただし飛び地は作らないで下さい（同じ区の中の地区は必ず隣接させて下さい）。別紙地図に選挙区がわかるようマジック太線で書き、氏名・配慮した点を箇条書きで述べて下さい。まずは（最大有権者数）－（最小有権者数）で評価しますが、配慮点もよく考えて政治家になったつもりで国民に納得してもらえるように説得してください。

参考：選挙管理委員および総務省が発表した2012年12月16日衆議院議員総選挙有権者数
1区：323,652人 2区：308,982人 3区：416,629人 4区：343,212人 5区：285,751人

☆今回のまとめなど

- ・知っていることをそのときに利用=活用できるのかが問われている
- ・上手くいかないことを楽しめるかが大事
- ・指數乗分だけ考えると答えは出る
- ・ある解からより良い解を目指せばベストになるという訳ではない

☆類する問題

- ・巡回セールスマン問題
- ・引越し屋さんのトラックの台数、船での輸送（トラック輸送問題）
- ・スーパー・マーケットの袋詰め（ナップサック問題）
- ・駐車場問題

☆解決に使った方法（こんなの出るかな？）

- ・平均
- ・基準を変更して計算しやすくする
- ・論理的思考

☆参考：

知恵蔵 2014 の解説。

民主主義の原則は1人1票で、1票の重さは同等であるべきである。しかし人口変動に合わせて議員定数の再配分や、選挙区の区割りの変更が行われない限り、1票の格差が生じてくる。例えば、2004年の住民基本台帳人口(3月31日現在)によると最も人口が少ない選挙区が徳島1区の26万5144人、最も人口が多いのは兵庫6区の56万9911人となり、衆院300小選挙区の1票の格差は2.15倍となった。このような1票の格差を解消するために、議員定数の再配分や選挙区の区割りの変更を行うことを、定数是正という。

(蒲島郁夫 東京大学教授)